

# 「学生の就職に関する意識調査」 結果

令和2年3月  
長野県建設部

## 学生の就職に関する意識調査

### 調査概要

- ・ 調査者：長野県建設部
- ・ 調査対象：①県立の高等学校 3年生の生徒（長野県立佐久平総合技術高等学校、長野県立木曾青峰高等学校、長野県立長野工業高等学校、長野県立上田千曲高等学校、長野県立飯田 OIDE 長姫総合技術高等学校、長野県立中野立志館高等学校、長野県立上伊那農業高等学校、長野県立南安曇農業高等学校、長野県立須坂創成高等学校）  
②国立長野工業高等専門学校 環境都市工学科 3・4年生の生徒  
③国立大学法人信州大学 水環境・土木工学科 3年生の生徒
- ・ 実施期間：2019年8月～2019年10月
- ・ 調査目的：建設業界への就業を促進するため、県内の生徒及び学生が、就職企業を決めるにあたってどのような観点で選定し、どのような情報を求めているかを把握するとともに、今後の取組に活用する。
- ・ 調査方式：学校を通じて配布・回収（無記名）
- ・ 回収数：①293名（9校）、②69名、③56名

### 調査結果概要

- ・ 現在の専攻学科への進学理由について、県立の高等学校3年生の生徒（以下、「高校生」という）、国立長野工業高等専門学校3・4年生の生徒（以下、「高専生」という）、国立大学法人信州大学（以下、「大学生」という）とも、「ものづくり、まちづくりをしたいから」との回答が最も多い。
- ・ 就職先を選定するにあたって重視する点について、高校生、高専生は「給与が高い」との回答が多く、大学生については、「週休2日が確保されている」との回答が多くなっていることから、生徒・学生が就職活動に当たって知りたい情報は労働環境（給料・休日）である。
- ・ 将来の人生設計について、自分の時間・家庭を大切にしながら働きたいと思っている生徒・学生が多い。
- ・ 就職する業界について、高校生は約2割、高専生、大学生は約1割が、他産業への就職を考えており、その理由として、「他の職種に興味があるから」との回答が最も多い。
- ・ 建設産業への就職を希望する生徒・学生のうち、特に大学生は県外を希望する割合が高い。

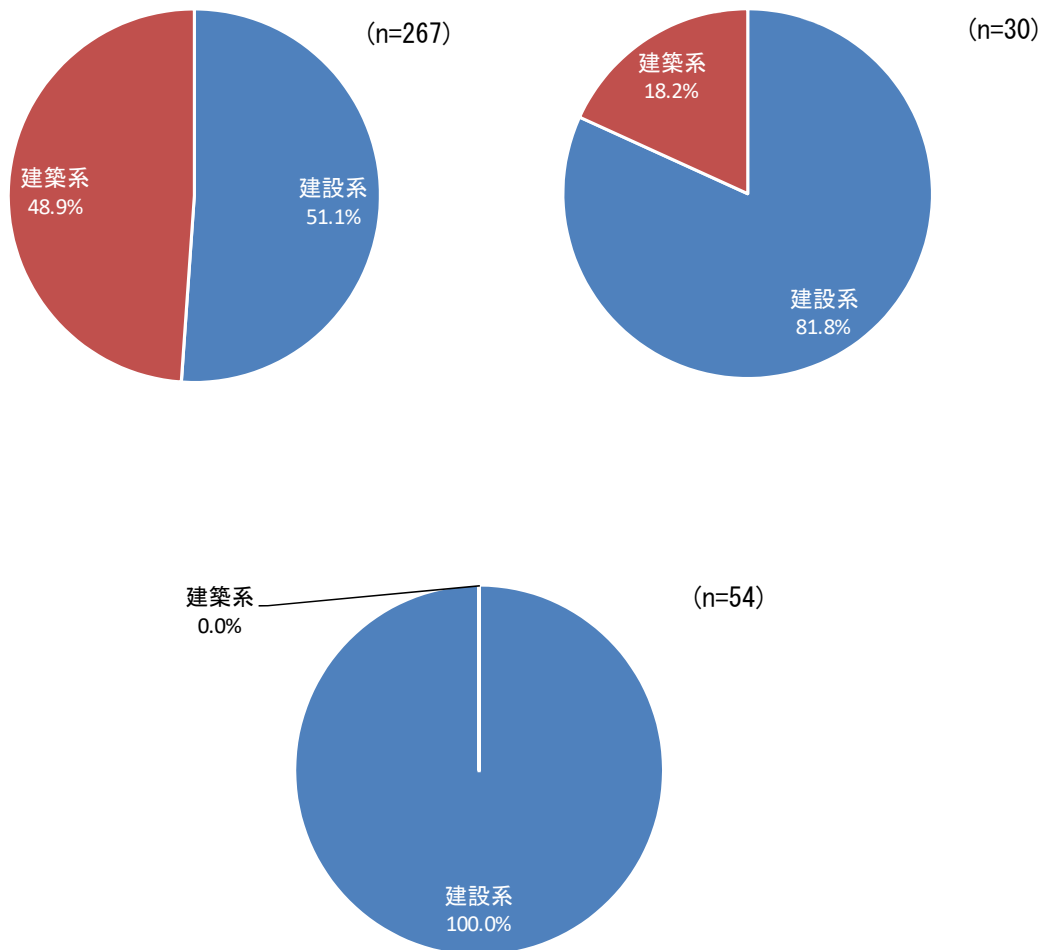
1. 専攻学科をお答えください

高校生は、建設系と建築系の割合がほぼ同等であったが、高専生と大学生については、建設系の割合が高くなっている。

図表 1-12-1 専攻学科

左：高校生 右：高専生

下：大学生



注 当該項目を複数回答している生徒がいるが、調整は行わずに単純集計している

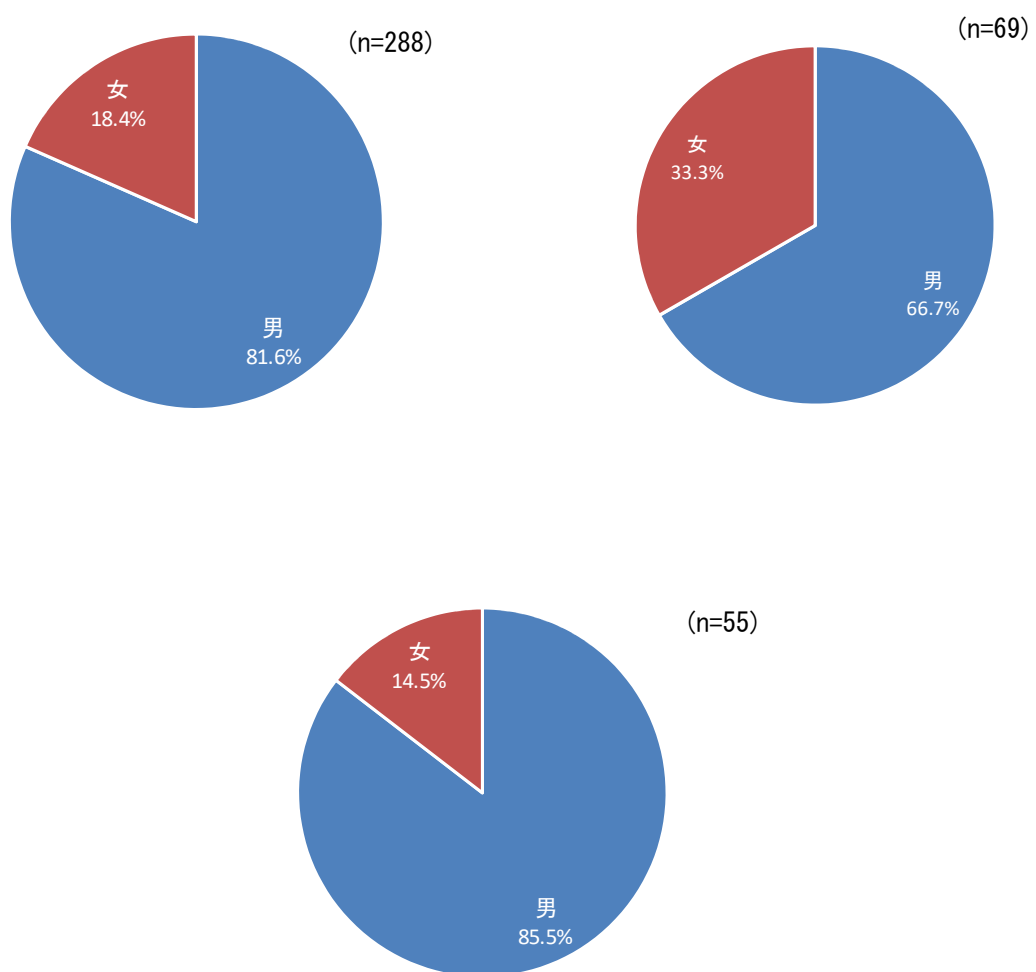
2. 性別をお答えください

高専生は、高校生と大学生に比べると、女性の割合が高くなっている。

図表 1-12-2 性別

左：高校生 右：高専生

下：大学生



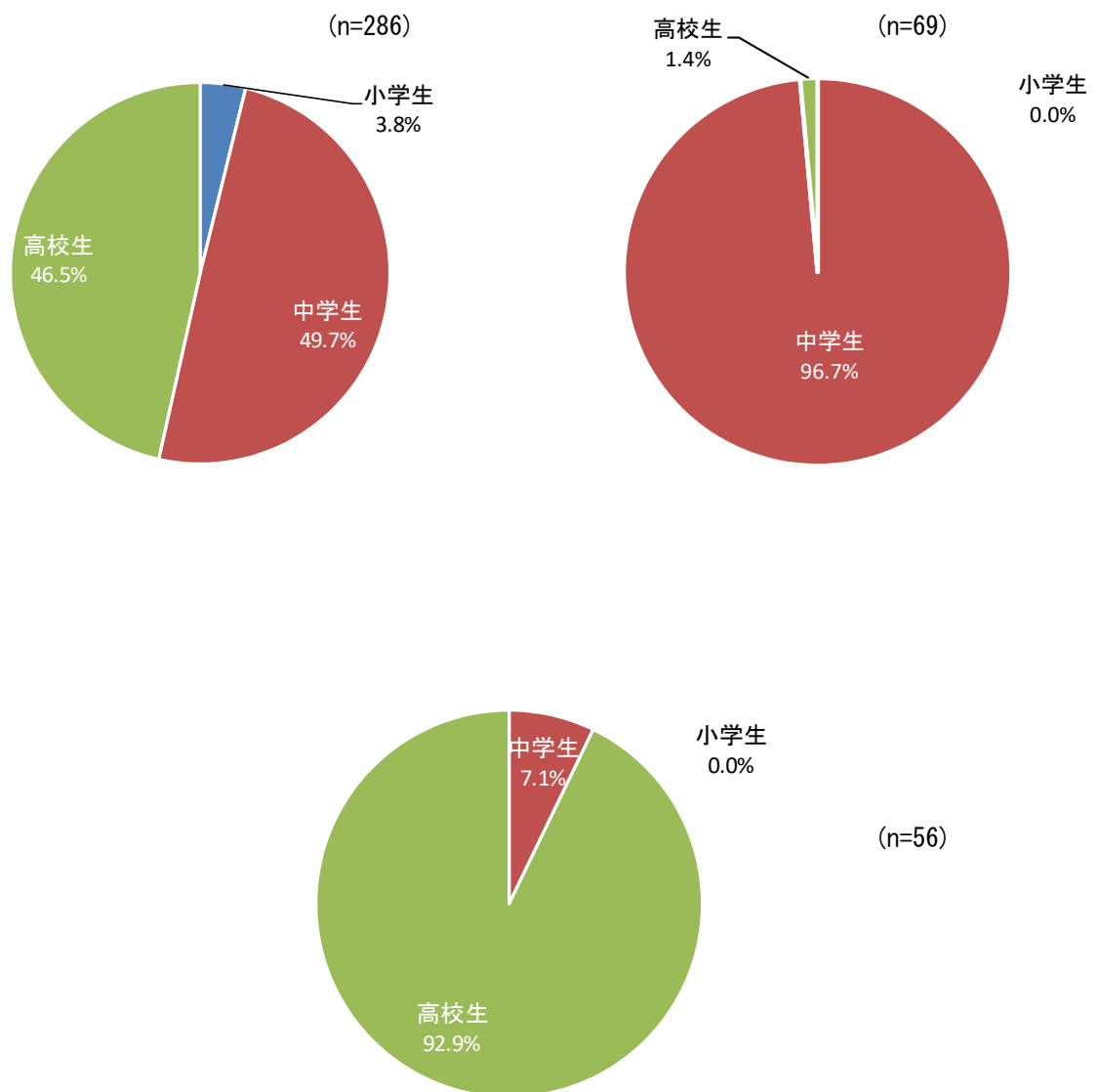
3. 専攻学科への進学を決めた時期をお答えください

高校生、高専生、大学生とも、直前に進学を決めた生徒・学生が多くなっている。

図表 1-12-3 時期

左：高校生 右：高専生

下：大学生

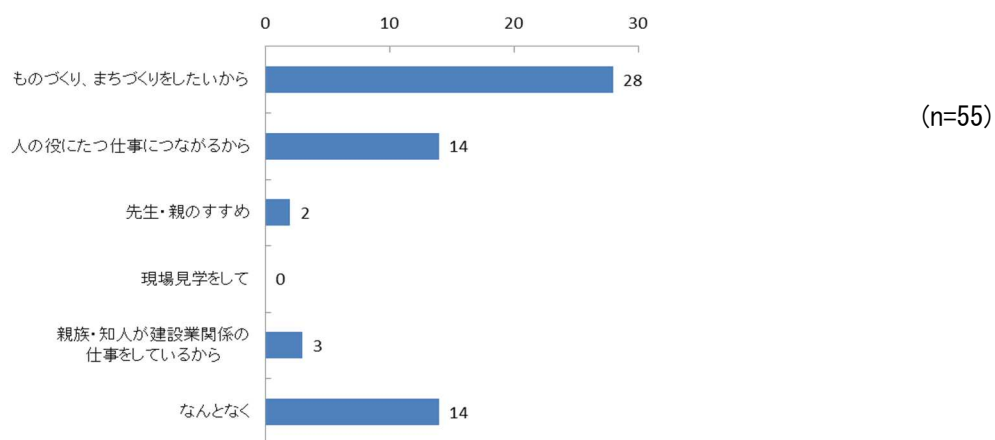
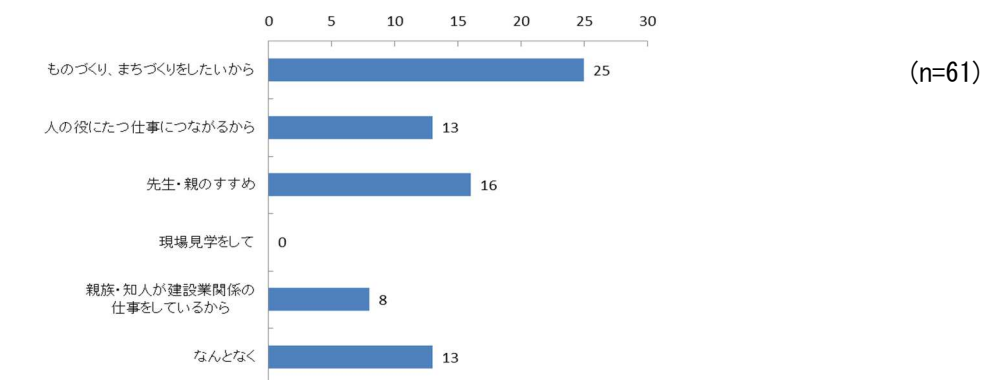
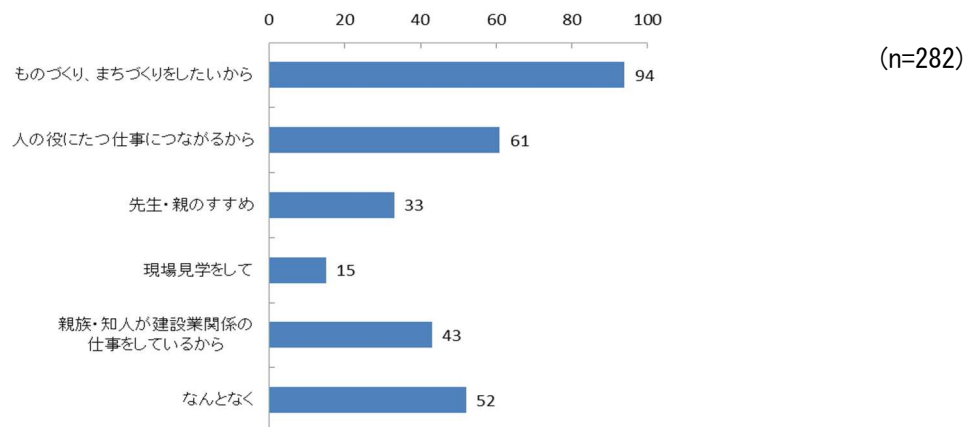


#### 4. 専攻学科への進学理由、きっかけをお答えください

高校生、高専生、大学生とも、「ものづくり、まちづくりをしたいから」を回答している割合が高くなっている。

図表 1-12-4 進学理由・きっかけ

上：高校生 中：高専生 下：大学生



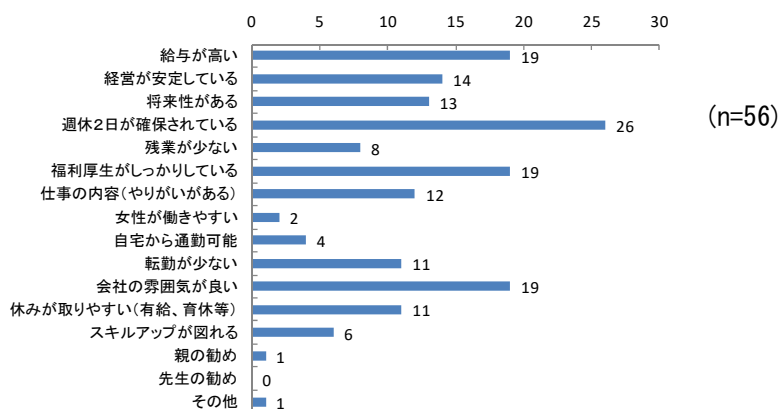
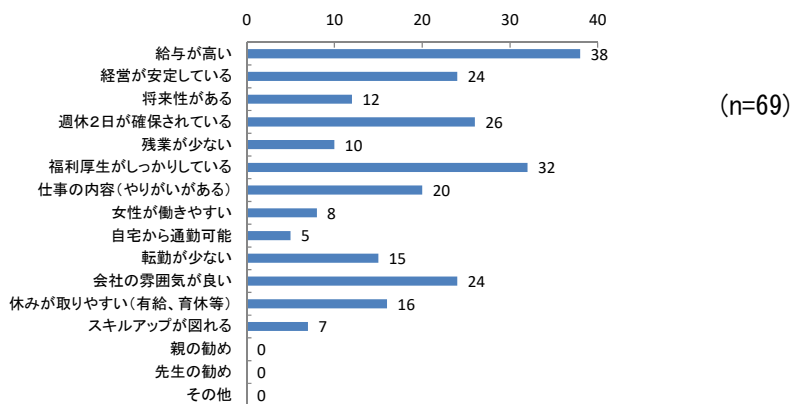
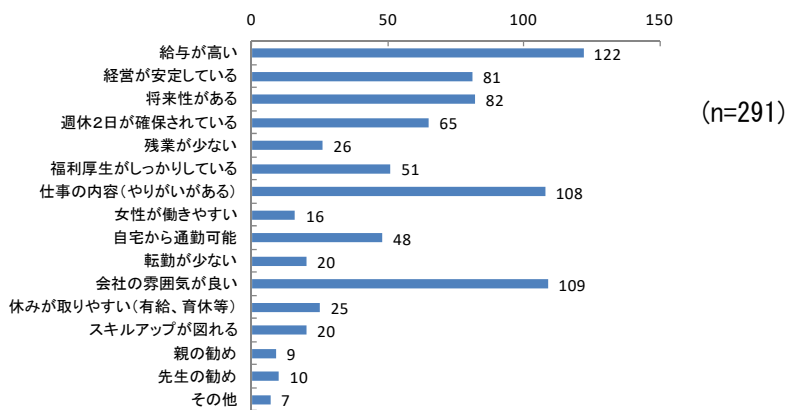
注 当該項目を複数回答している生徒・学生がいるが、調整は行わずに単純集計している

5. 就職先を選定するにあたり、どのような点を重視しますか（3つまで複数回答可）

高校生、高専生の多くが、「給与が高い」を回答している一方で、大学生については、「週休2日が確保されている」を回答している割合が高くなっている。

図表 1-12-5 就職先重視点

上：高校生 中：高専生 下：大学生

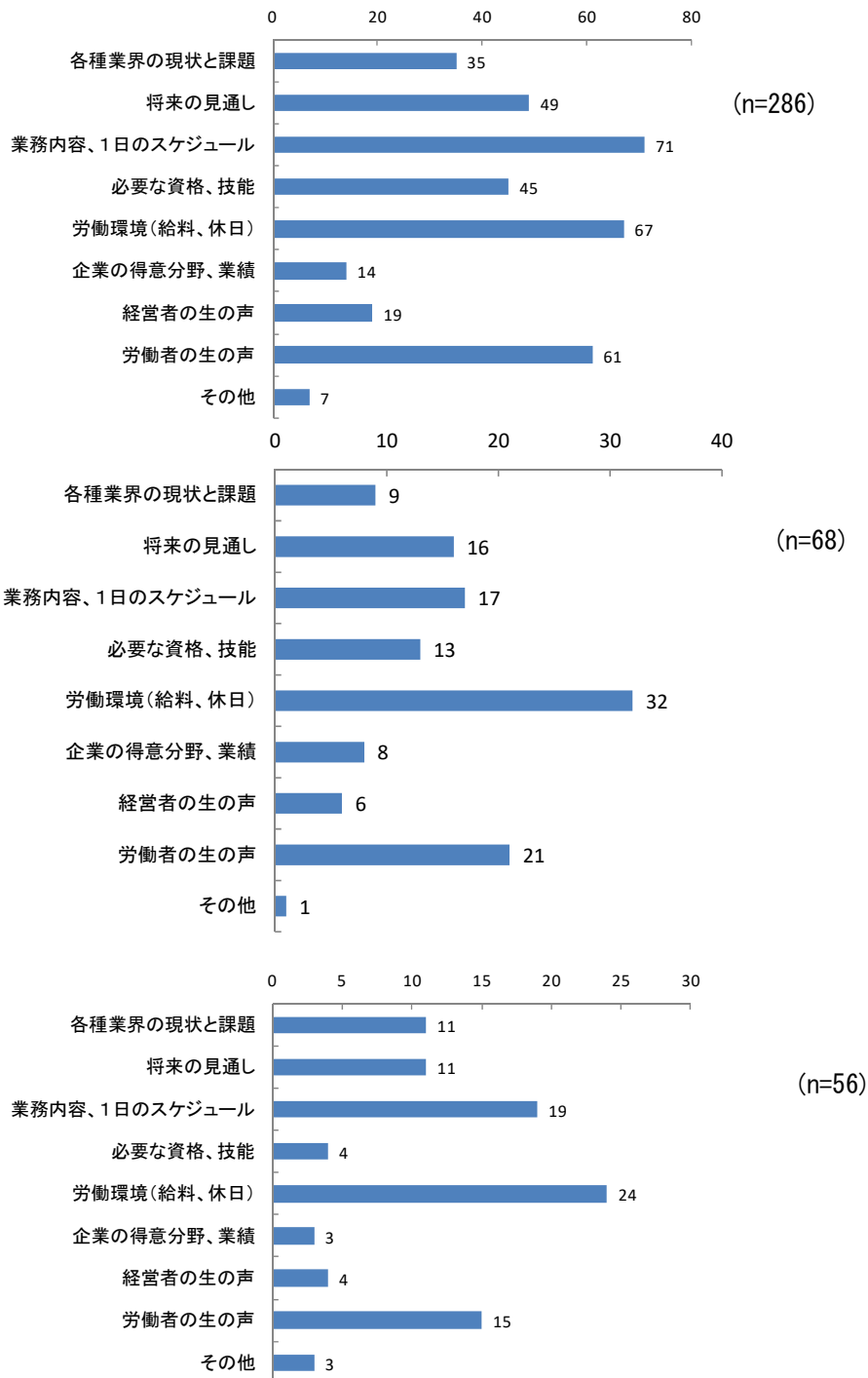


6. 就職活動にあたって知りたい情報をお答えください

高校生、高専生、大学生とも、「労働環境（給料・休日）」を回答している割合が高くなっている。

図表 1-12-6 就職活動の為の情報

上：高校生 中：高専生 下：大学生



注 当該項目を複数回答している生徒・学生がいるが、調整は行わずに単純集計している

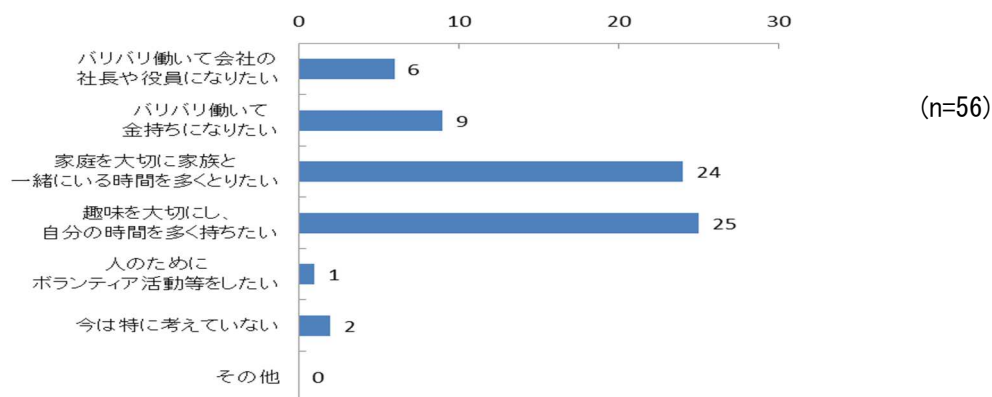
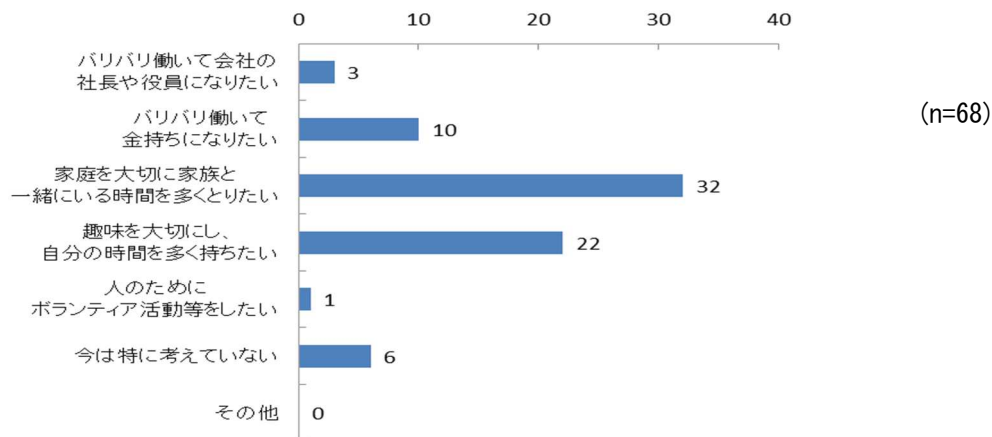
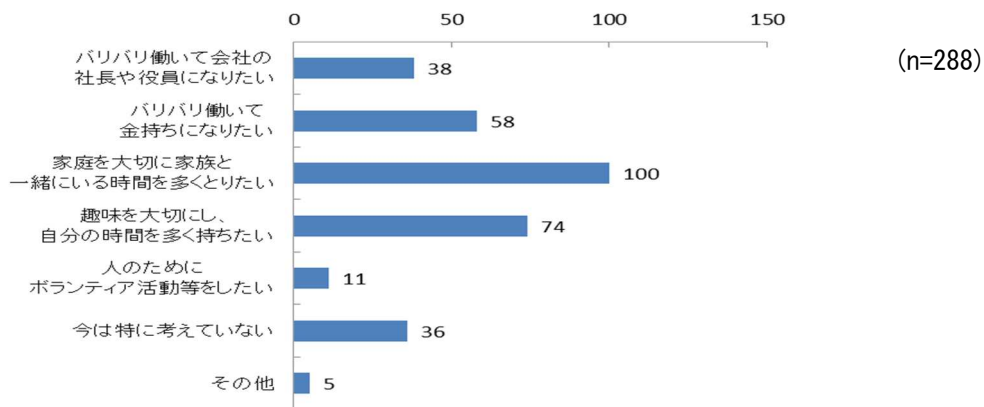


## 7. 将来はどのような人生設計をしていますか

高校生、高専生、大学生とも、「家庭を大切に家族と一緒にいる時間を多く取りたい」もしくは「趣味を大切にし、自分の時間を多く持ちたい」を回答している割合が高くなっている。

図表 1-12-7 将来の人生設計

上：高校生 中：高専生 下：大学生



注 当該項目を複数回答している生徒・学生がいるが、調整は行わずに単純集計している

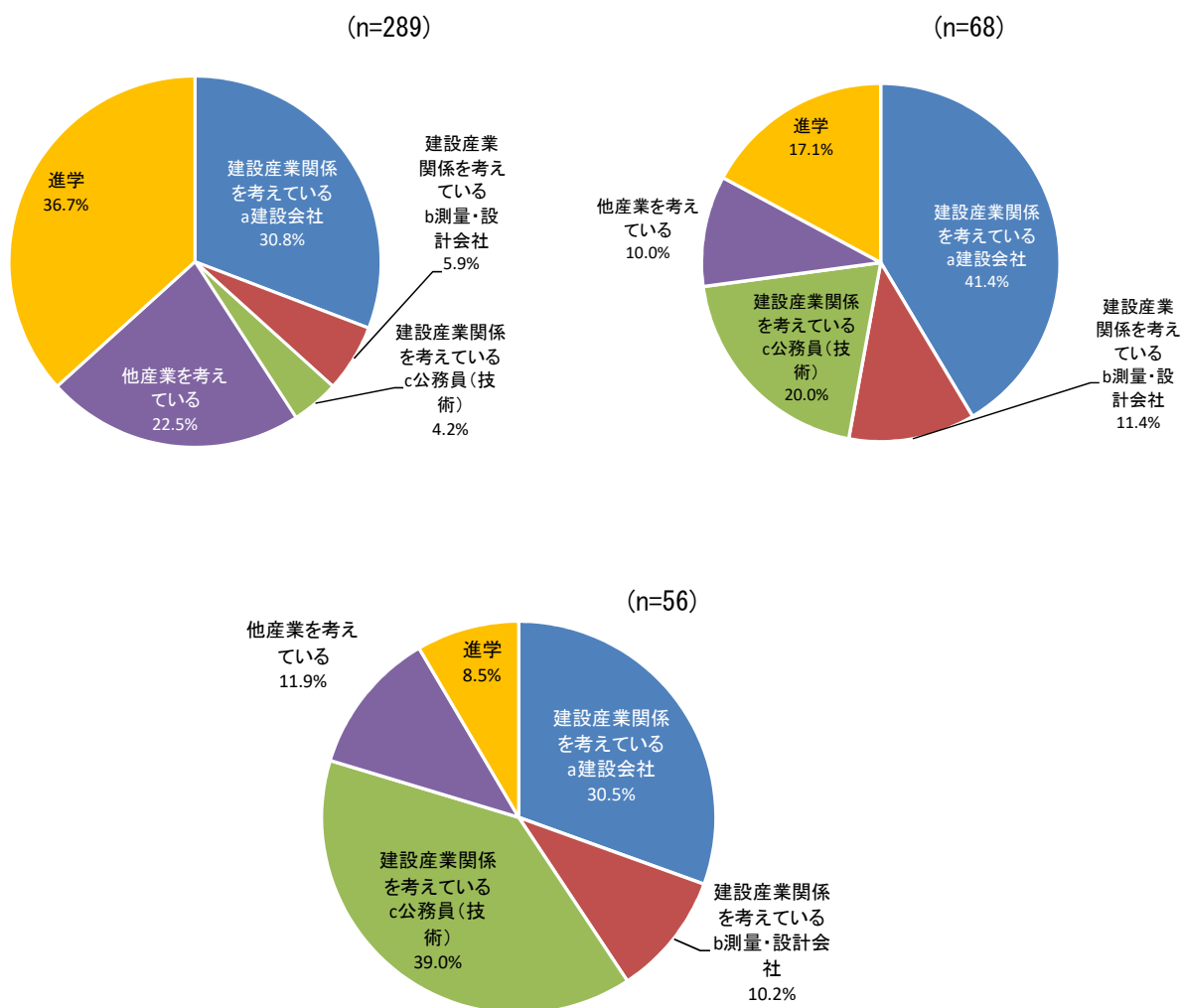
**8. 建設産業関係の仕事への就職を考えていますか**

建設系もしくは建築系の学校に通学しているものの、高校生は約 2 割、高専生、大学生は約 1 割が、他産業への就職を考えている。また、大学生については、「建設産業関係を考えている（公務員）」を最も多く回答している。

**図表 1-12-8 建設産業関係の仕事への就職**

左：高校生 右：高専生

下：大学生



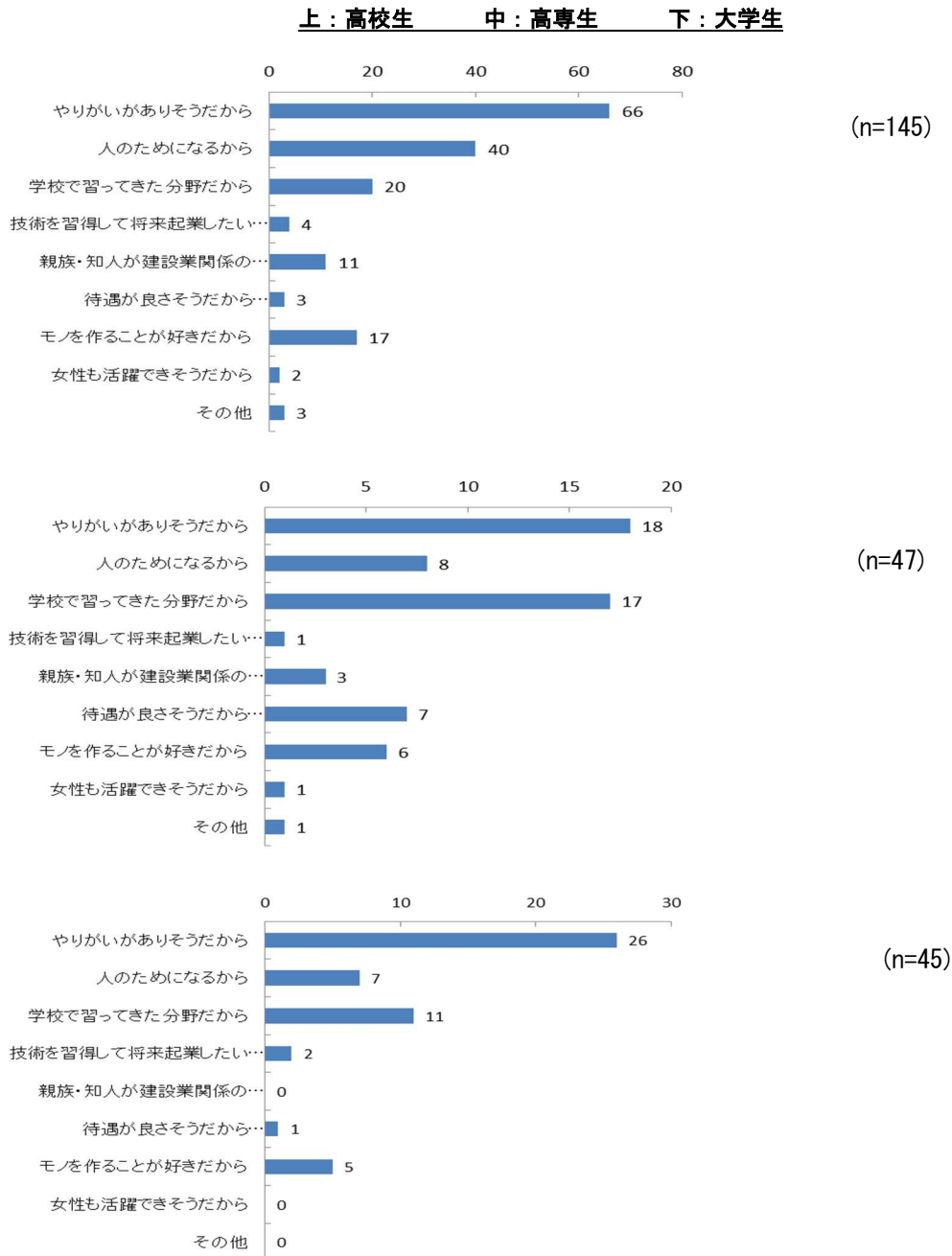
注 当該項目を複数回答している学生がいるが、調整は行わずに単純集計している

9-1. 建設産業のどこに魅力を感じますか（複数回答可）

(8. で①建設産業関係を考えていると選択した学生を対象

高校生、高専生、大学生とも、「やりがいがありそうだから」を最も多く回答している一方で、「待遇が良さそうだから（給料・休日）」を回答している割合が低くなっている。

図表 1-12-9 建設産業の魅力



注 8. で「建設産業関係を考えている」以外を回答した生徒・学生のうち、複数名が当該項目を回答しているが、調整は行わずに単純集計している

9-2. 県内で働きたいと考えていますか

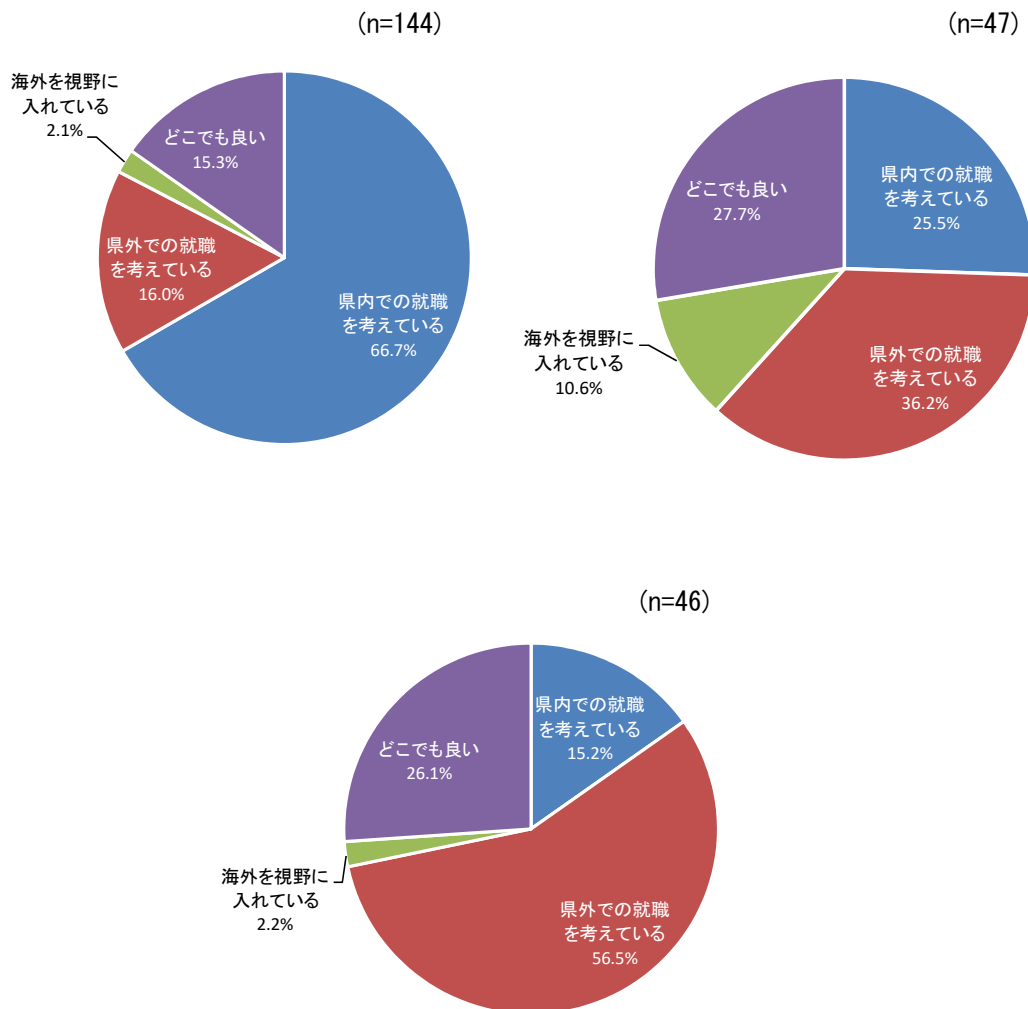
(8. で①建設産業関係を考えていると選択した学生を対象

高校生の多くが、「県内への就職を考えている」を回答している一方で、高専と大学については、「県外への就職を考えている」を回答している割合が高くなっている。

図表 1-12-10 就職先希望地

左：高校生 右：高専生

下：大学生



注 8. で「建設産業関係を考えている」以外を回答した生徒・学生のうち、複数名が当該項目を回答しているが、調整は行わずに単純集計している

9-3. 県内に就職しない理由をお答えください

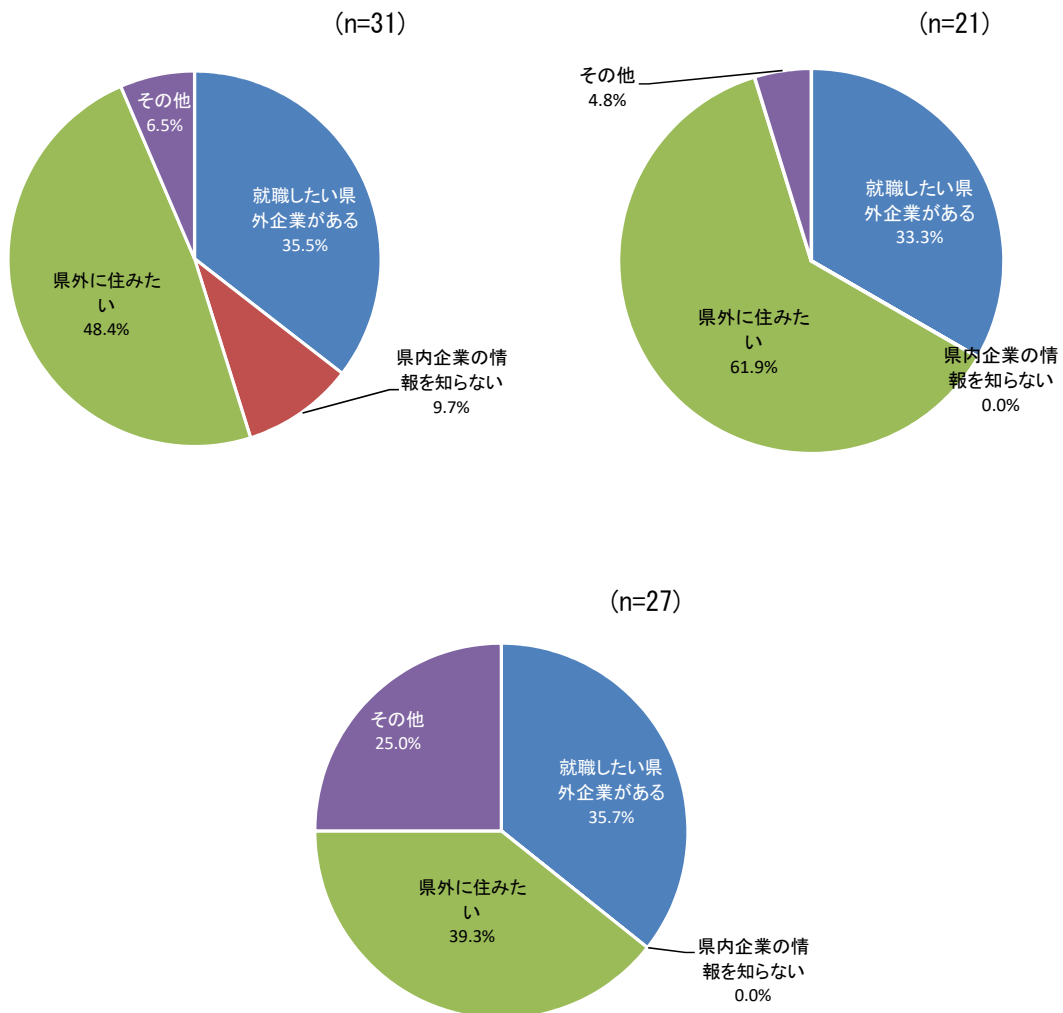
(9-2. で②県外で就職を考えていると選択した学生を対象（複数回答可）

高校生、高専生、大学生とも、「就職したい県外建設会社ある」もしくは「県外に住みたい」を回答している割合が高い。

図表 1-12-12 県内就職をしない理由

左：高校生 右：高専生

下：大学生



注 当該項目を複数回答している学生がいるが、調整は行わずに単純集計している

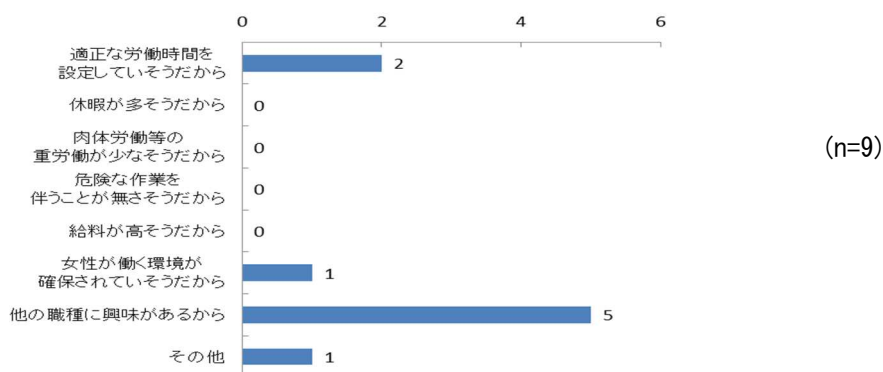
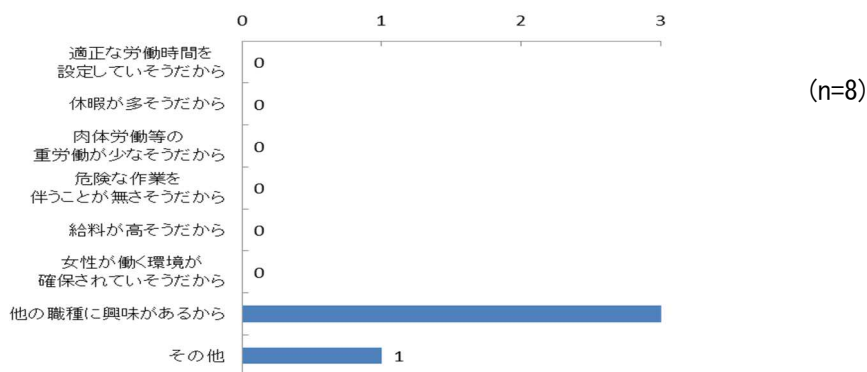
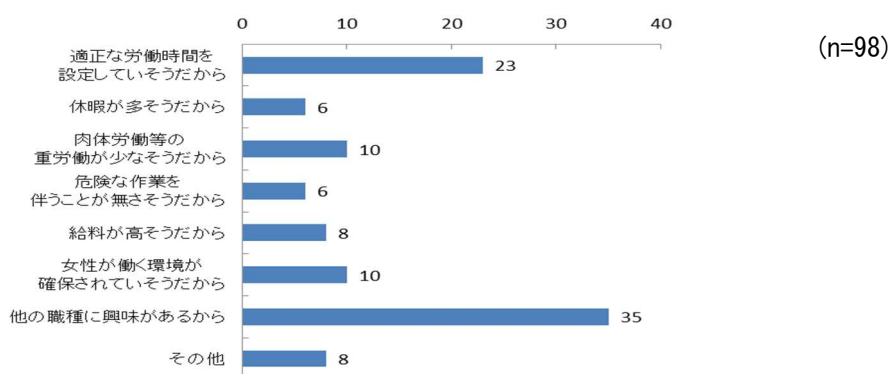
10. 他産業への就職を考えている理由をお答えください

(8. で②他産業を考えていると選択した学生を対象)

高校生、高専生、大学生とも、「他の職種に興味があるから」を回答している割合が高くなっている。

図表 1-12-13 他産業への就職理由

上：高校生 中：高専生 下：大学生

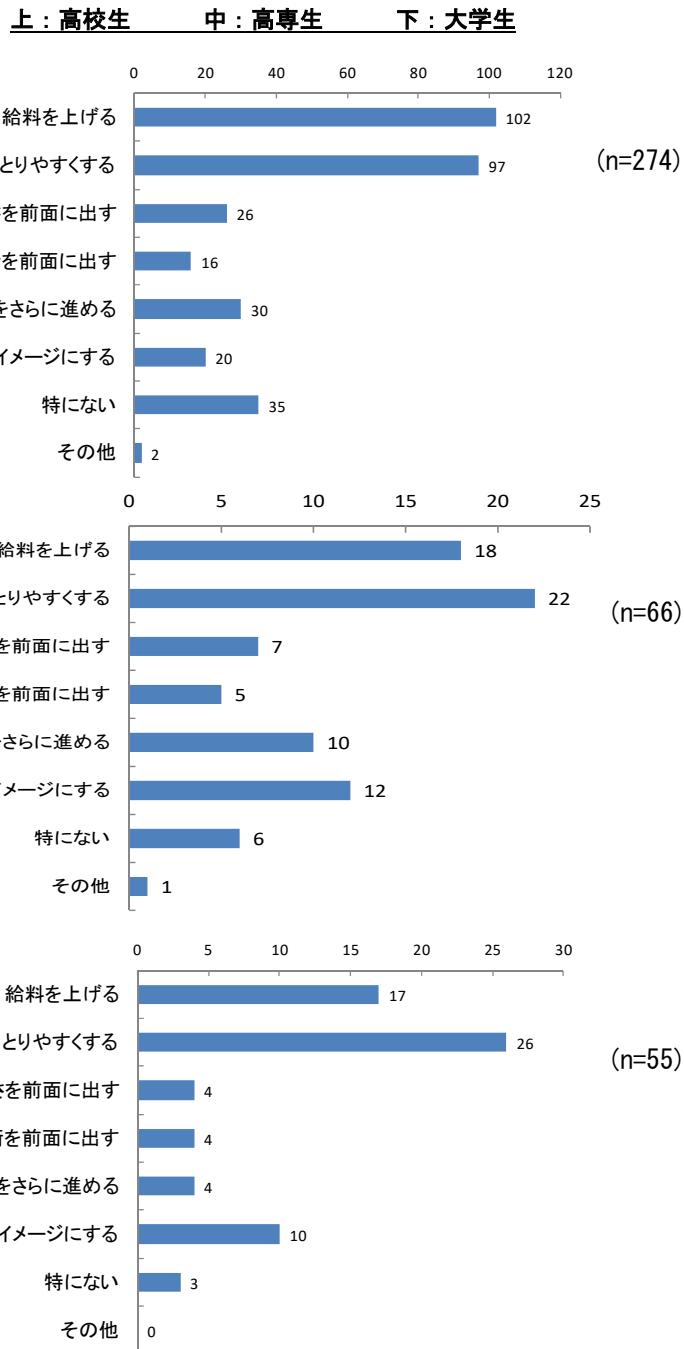


注 8. で「他産業を考えている」以外を回答した生徒・学生のうち、複数名が当該項目を回答しているが、調整は行わずに単純集計している

## 11. 建設業界に希望することをお答えください

高校生、高専生、大学生とも、「給料を上げる」もしくは「休日を増やす、とりやすくする」を回答している割合が高くなっている。

図表 1-12-14 建設業界に希望すること



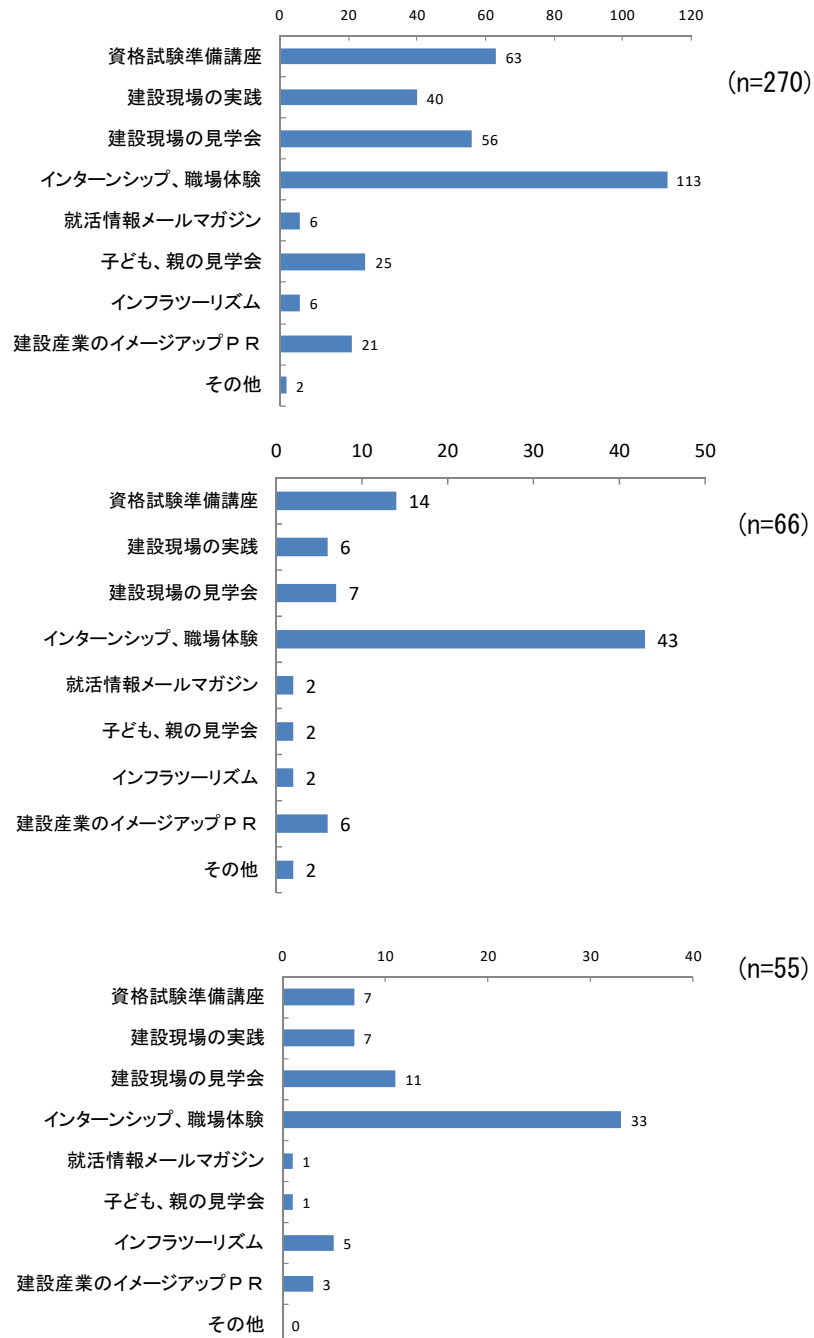
注 当該項目を複数回答している生徒・学生がいるが、調整は行わずに単純集計している

12. 県や建設産業の取り組みで有効と思うものをお答えください（複数回答可）

高校生、高専生、大学生とも、「インターンシップ、職場体験」を回答している割合が高くなっている。

図表 1-12-15 県や建設産業の有効と思う取り組み

上：高校生 中：高専生 下：大学生



注 当該項目を複数回答している生徒・学生がいるが、調整は行わずに単純集計している